

福祉のひろば

2023.2
69

「福祉のひろば」へのご意見募集中!



アンケート入力フォームから広報紙へのご意見をぜひお寄せください!
記事の感想や掲載してほしいことなどみなさまの声をお待ちしています!

青森県社協ウェブサイト

「福祉ネットあomorい」はこちら →

URL <http://aosyakyo.or.jp/>



P2-3 特集

介護ロボットでより良い介護へ

介護人材不足の中で、介護の質を高める手段の一つとして期待される介護ロボット。

県社協の「青森県介護啓発・福祉機器普及センター」が推進している介護ロボットの導入支援と介護現場で活躍する最新の介護ロボットをご紹介します。

P5 ボランティア活動情報

「あomorい いのちの電話」 の取り組み



電話相談等による自殺予防活動を行っている「認定NPO法人あomorいいのちの電話」の理事長 藤林正雄さんにお話を伺いました!

P9 ふくしワークLINE



- ・福祉のお仕事探しませんか?
相談会の事前申し込み受付中
- ・保育のお仕事出張相談会 3月開催
- ・全国で広がっています!
介護サポーターで地域貢献!

福祉事業所・福祉職の方に向けた情報をお知らせ!

P10 みなさまの善意に感謝!

県社協への寄附・善意銀行への預託をご紹介します!

P6-7 発信! 県社協

- ・第71回青森県社会福祉大会を開催しました!
- ・令和5年3月開催
障害者虐待防止・権利擁護研修会
- ・人材の確保・定着のため
県社協の職員共済に加入しませんか? ほか
県社協が取り組んでいる活動をご紹介します!

P11 スポットライト

特別養護老人ホームおきだて苑

介護福祉士 大谷実優さん

高校卒業後に福祉の職場に飛び込んだ人物をご紹介します!

P12 県社協から

アンケートに寄せられた感想や意見をご紹介します

介護ロボットでより良い介護へ

介護ロボットって？

ロボットとは、「情報を感じ（センサー系）」「判断（知能・制御系）」「動作（駆動系）」するという、3つの要素技術を有する知能化した機械システムと定義されており、このロボット技術が応用され、利用者の自立支援や介護者の負担軽減に役立つ介護機器のことを介護ロボットと呼びます。

一言で介護ロボットと言っても、いわゆるロボットという見た目のものもあれば、見守り・コミュニケーションのためのセンサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器もあります。また、ロボット技術を用いて介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、それを基に、必要な支援に活用することを可能とする機器も介護ロボットと定義され、その種類は多岐に及びます。

止まらない超高齢社会

介護ロボットが注目される背景に、全国的な超高齢社会の問題があり、令和3年時点の日本の高齢化率（総

人口に占める65歳以上の割合）は約29%となっています。中でも青森県の高齢化率は令和3年時点で約34%と高く、令和元年時点では約33%だったことから、2年で約1%上昇しています。（令和4年版高齢社会白書・令和2年版高齢社会白書より）

また、厚生労働省の発表によると、全国的な介護職員の必要人数は令和5年度には約233万人、令和22年度には約280万人になると試算されています。

開発・普及と加速化

こうした状況下、国も介護ロボットやICT（情報通信技術）などの活用を推進しています。

介護サービスの質の向上や人材確保の対策として、テクノロジーの確保が効果的だと考えているからです。このため、「移乗」「移動」「排泄」「見守り・コミュニケーション」「入浴」「介護業務支援」など6つの分野¹³項目の介護ロボットを重点的に開発し、普及を推し進めています。

介護ロボットの開発支援の重点6分野

<p>民間企業・研究機関等 <経産省中心></p> <p>○日本の高度な水準の工学技術を活用し、高齢者や介護現場の具体的なニーズを踏まえた機器の開発支援</p>		<p>モニター調査の依頼等</p>	<p>介護現場 <厚労省中心></p> <p>○開発の早い段階から、現場のニーズの伝達や試作機器について介護現場での実証（モニター調査・評価）</p>	
<p>開発重点分野 ○経済産業省と厚生労働省において、重点的に開発支援する分野を特定（平成25年度から開発支援）</p>				
<p>移乗支援</p> <p>○装着</p> <p>・ロボット技術を用いて介助者のパワーアシストを行う装着型の機器</p> <p>○非装着</p> <p>・ロボット技術を用いて介助者による抱え上げ動作のパワーアシストを行う非装着型の機器</p>	<p>移動支援</p> <p>○屋外</p> <p>・高齢者等の外出をサポートし、荷物等を安全に運搬できるロボット技術を用いた歩行支援機器</p> <p>○屋内</p> <p>・高齢者等の屋内移動や立ち座りをサポートし、特にトイレへの往復やトイレ内での姿勢保持を支援するロボット技術を用いた歩行支援機器</p> <p>○装着</p> <p>・高齢者等の屋内移動や立ち座りをサポートし、特にトイレへの往復やトイレ内での姿勢保持を支援するロボット技術を用いた歩行支援機器</p>	<p>排泄支援</p> <p>○排泄物処理</p> <p>・排泄物の処理にロボット技術を用いた設置位置調節可能なトイレ</p> <p>○トイレ誘導</p> <p>・ロボット技術を用いて排泄を予測し、的確なタイミングでトイレへ誘導する機器</p> <p>○動作支援</p> <p>・ロボット技術を用いてトイレ内での下衣の着脱等の排泄の一連の動作を支援する機器</p>	<p>見守り・コミュニケーション</p> <p>○施設</p> <p>・介護施設において使用する、センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム</p> <p>○在宅</p> <p>・在宅介護において使用する、転倒検知センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム</p> <p>○生活支援</p> <p>・高齢者等とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器</p>	<p>入浴支援</p> <p>・ロボット技術を用いて浴槽に入浴する際の一連の動作を支援する機器</p> <p>介護業務支援</p> <p>・ロボット技術を用いて、見守り、移動支援、排泄支援をはじめとする介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、それを基に、高齢者等の必要な支援に活用することを可能とする機器</p>

今回の特集では、介護の人材不足の中で注目されている「介護ロボット」について紹介します。

ロボット技術の介護利用における重点分野（引用：厚生労働省作成 会議資料）

移乗支援

椅子等への
移乗時の立
位保持をサ
ポート！



移動支援

利用者の希
望の場所ま
で自走でき
ます！



排泄支援

汚れにくく、
臭わないポ
ータブルトイレ！



見守り

シルエットセンサーと
見守りセンサー機能を搭載！
介護現場の「見える化」を実現！



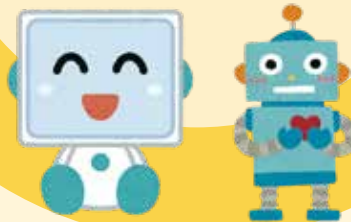
←居室の天井に
シルエットセン
サーを設置！

モニターに
居室映像が
映ります！→



介護ロボットの 活躍場面

介護ロボットは利用者の支援のほか、
介護職員の業務も支援しています。
最新の介護ロボットの中から、本会
展示場で展示している一部をご紹介！



コミュニケーション

一緒に
お話したり
歌ったり♪



お知らせ機
能や会話で
暮らしのお
手伝い♪

もうひとつ、介護ロボットの導入を
後押しするための国の対策が、介護現
場のニーズに合った介護ロボットの開
発・実証・普及を加速化するために介
護現場と開発企業の双方を支援する
「プラットフォーム」の設置です。具
体的には開発中の介護ロボットの製品
評価等を行うリビンングラボや介護現
場・開発企業双方からの相談受付など
を行う一元的な窓口の設置です。

本県の介護ロボット相談窓口

本会では、この介護ロボット相談窓
口を設置しています。展示場には21点
の介護ロボットを展示し、来場者には
実際の機器を体験いただきながら、職
員が様々な相談に応じています。

相談窓口には、機器の選び方や導入
の進め方など多岐にわたる相談があり
ます。介護ロボット導入にあたっては
現場の課題を把握し、手段となるテフ
ノロジーで何を解決していくかを明確
にすることが重要です。

今年度は、この点に着目し現場の課
題把握から計画・実施・フォローまで
事業所に伴走的に支援する取り組みも
行っています。

介護ロボット導入を支援します

青森県では、介護ロボットやICT
を導入する事業所に補助金交付を行っ
ています。

本会では、機器の種類や活用事例な
どの情報提供を通して、介護事業所の
課題に合った機器を選び、効果的に補
助金を活用できるよう取り組んでいま
す。

これまでの過去6年間に、61の介護
事業所が補助金を活用しました。事業
所からは「利用者の睡眠を妨げずに夜
間の見守りができる」「職員の休憩時
間を確保できる」など、介護ロボットの
活用効果を実感した声が寄せられて
います。

中には、使い勝手の悪さなどを指摘
する意見もありますが、いずれも現場
の貴重な生の声です。これらを本会の
データとして蓄積し、「機器導入はこ
れから！」という事業所に、取り組み
事例や成果、課題を率直に紹介するこ
とで、介護現場の課題解決をさらに支
援していきたいと考えています。

介護ロボット等に関する各種「相談
は、介護ロボット相談窓口まで。

電話：0177-7777-0012

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料(1名あたり) 団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

商品パンフレットは
こちら



(ふくしの保険)
ホームページ

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	[新設]特定感染症重点プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)	初日から補償	
	地震・噴火・津波による死傷	×	○	○
賠償責任の補償	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)		
	年間保険料	350円	500円	550円

*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社
 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667
 受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

ボランティア活動情報



「あおもりのちの電話」の取り組み

電話相談等による自殺予防活動を行っている「認定NPO法人あおもりのちの電話」の理事長藤林正雄さんにお話を伺いました

どんな相談がありますか？

抑うつ状態で死にたい、家族のことや借金で悩んでいる、病気が辛いなど、「あおもりのちの電話」に寄せられる相談は多岐にわたります。年代も10代から70代以上まで幅広いです。

相談が寄せられると、相談員は丁寧にお話を聞いて、それぞれの悩みに寄り添うことを基本としています。なお、相談者も相談員もお互いに名乗りません。匿名にすることで気持ちが打ち明けやすくなります。

～ひとりで悩まないで～

あおもりのちの電話

受付 12:00～21:00
毎日 0172-33-7830
10日 0120-783-556

(フリーダイヤル自殺予防のちの電話)

1・15日 0120-063-556

(青森県民のための自殺予防フリーダイヤル)

メール相談 (随時、ホームページから)

<https://inochi-a.net>



時には数時間にわたり相談に応じることもあります

相談件数は増えていますか？

令和3年度は2955件の相談受信がありました。コロナ禍に著名人の自殺報道がされ、いのちの電話がメディアに取り上げられたこともあり、近年の相談受信件数は増加傾向です。

一方、ボランティアの相談員は68人で、十分な人数とは言えません。いのちの電話は当番制のため、常に電話の受け手を確保しなければならぬからです。

今後は、相談員数を増やして24時間365日相談を受ける体制を目指し、自殺予防活動を地道に継続していきたいと考えています。

相談員になる方法は？

所定のカリキュラムの講座を修了、登録する必要があります。講座では傾聴スキルの訓練、声の雰囲気や背景の音から相手の状況を想像する感受性の訓練などを行います。仕事や対人関係の能力を高めたいと、働きながら意欲的に取り組む相談員もいます。大変な仕事ですが、定期研修の受講や相談員の仲間と話すことは励みになっています。また、相談を通して自分に対する気づきが得られ、経験が豊かになります。無料の講座から気軽に参加してほしいです。

相談員養成講座

対象：20歳以上の男女 (職業・学歴不問)

課程：全4課程

(第1課程は無料、第2～4講座は有料)

時期：毎年5月から翌年8月まで

※ホームページ(<https://inochi-a.net/>)をご覧ください
※事務局 (0172-38-4343) にご確認ください

がんを含む
病気やケガの備えに

医療保険
EVER Prime

心配な「がん」の備えに

「生きる」を創る
がん保険
WINGS

◎商品の詳細は「パンフレット」「契約概要」などをご確認ください。

〈募集代理店〉(アフラックは代理店制度を採用しています)

株式会社RAB企画 ☎0120-55-7064 ☎017-739-3598
〒030-0113 青森市第二間屋町3丁目2-35

- アフラックサービスショップ青森柳町店 〒030-0861 青森市長島2-25-4 ☎017-721-3151
- 八戸支店 〒039-1166 八戸市根城5-5-27 青森放送八戸支社3F ☎0178-43-8610
- アフラックサービスショップ八戸下長店 〒039-1164 八戸市下長1-6-20 ☎0178-21-1730
- 弘前支店 〒036-8355 弘前市元寺町25-1 青森放送弘前支社1F ☎0172-35-1881
- むつ支店 〒035-0033 むつ市横迎町2-16-8 ☎0175-33-8215

〈引受保険会社〉
「生きる」を創る。 **アフラック**
青森支社
〒030-0802 青森県青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビルディング9F
Tel.017-777-0963 Fax.017-777-0942

AFツール-2022-0287-220910 7月26日

掲載している活動について詳しく知りたい方は、お気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】 ● メール：fukushi-net-aomori@aosyakyo.or.jp

● 電話：017-723-1391 ● FAX：017-723-1394

県社協HPに
最新情報
公開中！ ➡



人材の確保・定着のため 県社協の職員共済に加入しませんか？

県社協は、福祉事業所・団体に働く方の福利増進を目指して、「青森県民間社会福祉事業職員共済事業」を実施しています。ぜひ加入をご検討ください。

①退職金の給付：

加入期間1ヶ月以上で退会時に退職金を給付！

加入された職員と事業主から毎月それぞれ掛金を負担いただき、積立額から退職金を給付します。長く加入するほど割増率は高くなります。

②慶弔見舞金の給付：祝金や見舞金を給付！

結婚・出産・入院等の慶弔見舞金を給付します。

③必要資金の貸付：最大200万円の貸付を利用可能！

貸付の対象は加入期間1年以上の方です。住宅修繕・教育資金・生活費などで利用いただけます。

ホームページに職員共済のパンフレット
や申請書類の様式を掲載しています！

青森県社協 職員共済
で検索！



問合せ先：総務課 017-723-1391



キラリ輝く介護の魅力！ 介護技術コンテスト2022 開催



最優秀賞

特別養護老人ホーム静光園(弘前市)

「キラリ輝く介護の魅力！介護技術コンテスト2022」を去る10月22日(土)、オンライン観覧方式で開催しました。

コンテストは、移動介助をテーマに県内の6事業所が参加し、真剣に、時にユーモアも交えながら日ごろのケアを披露しました。この他、事例発表も行い、発表者は介護の魅力をふんだんに発信していました。

社会復帰を支える地域での連携 地域福祉支援検討会 開催

12月16日(金)、高齢・障害の刑務所退所者、被疑者等に対する福祉支援の普及を目的に、中圏圏域の福祉関係者を対象として、刑事司法や更生保護、地域生活定着支援事業に関する講義と事例検討を行いました。

参加者からは「障害を持ち生きづらい方は多く、触法者の抱える生きづらさを検討したことは、日頃の支援にも活かせる」という感想がありました。



参加者の半数は触法者の支援経験があり、事例検討では活発に意見交換が行われました

他地区の支援員と交流を深めた 放課後児童支援員資質向上研修

12月6日(火)～7日(水)、県内の放課後児童クラブに従事する放課後児童支援員を対象とした資質向上研修を開催し、初任者コース・中堅者コースあわせて93人の参加がありました。

研修では、子どもの育成支援に必要な専門的知識や技術、障害のある子どもの理解や児童虐待への対応などについて学びました。初任者コースの参加者からは「他地区の支援員と学び合うことができて良かった」といった声が聞かれました。



子どもの1日の生活時間や放課後児童クラブに来るときの子どもの気持ちなどを話し合いました



第71回青森県社会福祉大会を 開催しました！

〈表彰状授与の様子〉



11月2日（水）、第71回青森県社会福祉大会を開催しました。

3年ぶりの開催となる本大会は、「つながりを途絶えさせない地域づくり」をテーマとし、諏訪中央病院名誉院長 鎌田 實氏の動画による講演の後、社会福祉に功績のあった方々へ表彰状の授与を行いました。

また、新たなつながり方や支え合いが構築できる地域づくりを目指して「大会宣言」が採択されました。

青森県社協の 「あおもりフードバンク」

青森県社協のフードバンク活動「あおもりフードバンク」では、9つのルートを通じて必要な方に食品等をお届けしています。今年度は11月までに31,756キロの食品等を寄贈いただき、必要な方々にお渡ししています。

コープあおもりの農産品提供では、15ヶ所の社会福祉法人を通じて、施設利用者に果物や野菜などの農産品が提供されています。



青森県民生協は、各店舗でフードドライブを実施中

青森しあわせネットワークの活動やコープ東北のコープフードバンクでは、県内の社会福祉法人や社会福祉協議会を通じて、生活困窮者等に食品をお届けしています。



AOMOSHIAWASE

活動の様子はインスタで！

令和5年3月開催 障害者虐待防止・権利擁護研修会

令和2年度青森県での障害者虐待の相談件数と虐待と認められた件数は下記表のとおりで、昨年度より件数が増加しています。

	養護者による 障害者虐待	障害者福祉施設従事者 等による障害者虐待
相談・通報・ 届出の件数	42件 (27件)	33件 (22件)
虐待と認めら れた件数	14件 (7件)	16件 (10件)

※令和2年4月1日～令和3年3月31日の受付件数及び虐待と認められた件数。括弧内は昨年度の結果

※令和2年度障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応状況等に関する調査結果

虐待防止は、虐待に対する意識を深め、小さな兆候を見逃さず、虐待の芽に早く気が付くことが大切です。障害者虐待防止の理解のため、研修会を動画配信で開催しますので、県社協HPからぜひお申込ください。

研修名	障害者虐待防止・権利擁護研修会
配信期間	令和5年3月1日（水）～21日（火）
問合せ先	障害者権利擁護センター：017-721-1206

多機関協働事業（重層的支援体制整備事業への移行準備事業） 地域共生社会実現に向けた制度学習会開催



学校形式での平内町制度学習会

県内の9町村（平内町、今別町、蓬田村、外ヶ浜町、西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町）で実施している多機関協働事業の一環として「地域共生社会実現に向けた制度学習会」を令和4年10月からスタート。学習会の内容は各町村の役場や社協が主体となって企画。福祉・保健・税務・住宅・商工等の担当や民生委員、自治会、金融機関など幅広い関係者の皆さまが参加し、断らない相談支援、つながり続ける支援、支える地域づくりなどについて理解を深める機会となっています。学習会は令和5年2月までに9町村で開催予定としています。



グループワーク形式での西目屋村制度学習会



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、
動産総合保険、費用・利益保険)

① 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等の各種費用	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 施設の医療事故補償
 - ・ 医務室の医療事故補償
 - ・ 看護職の賠償責任補償
- オプション3 ● 施設の借用不動産賠償事故補償
- オプション4 ● クレーム対応サポート補償
- NEW** ● オプション5 ● 施設の感染症対応費用補償
休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
- ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

- ② 個人情報漏えい対応補償
- ③ 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- ① 入所型施設利用者の傷害事故補償
- ② 通所型施設利用者の傷害事故補償
- ③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- ① 職員の労災上乗せ補償
 - オプション：使用者賠償責任補償
- ② 役職員の傷害事故補償
- ③ 役職員の感染症罹患事故補償
- ④ 雇用慣行賠償補償



プラン4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03(3349)5137
受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03(3581)4667
受付時間：平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)



福祉のお仕事探しませんか? 相談会の事前申し込み受付中

青森県福祉人材センターは、福祉分野の仕事に就職希望の方、興味がある方を対象に毎年相談会を開催しています。今年度最後の「福祉・保育・医療のしごと相談フェスタ」では、求人担当者との個別相談やオンライン相談（要事前予約）、現役福祉職のトークセッションのほか最新の福祉機器や介護ロボットの展示等を行います。

福祉施設・保育所・病院等の仕事に興味のある方はどなたでも参加できますので、ぜひお越しください。

福祉・保育・医療のしごと相談フェスタ

日時：3月4日(土) 13:30~16:30
場所：東奥日報新町ビル
New's ホール 3階催事場D

申込は下記QRコードから



求職者の申込はこちら



【問合せ先】 青森県福祉人材センター
電話：017-777-0012

保育のお仕事出張相談会 3月開催

青森県保育士・保育所支援センターでは、保育分野に関する就職支援を行うため、左表のとおり相談会を開催します。

3月は新年度の求人が増加している時期です。就職活動を行っている方は、この機会にぜひご利用ください。

保育のお仕事出張相談会・オンライン相談

地域等	日付・時間	会場・実施方法等
むつ市	3月9日(木) 10時~13時	マエダ本店 1階休憩スペース
青森市	3月28日(火) 10時~13時	イトーヨーカドー青森店 正面玄関入り口
オンライン	月曜~金曜 ※祝日除く 9時~17時	Zoom ※事前にお問合せください

【問合せ先】 青森県保育士・保育所支援センター
電話：017-778-2225

全国で広がっています! 介護サポーターで地域貢献!

短時間勤務希望者が介護施設等で介護の周辺業務を担う「介護の支え手「介護サポーター」採用事業」を実施しています。県内20法人等の施設で、地域の中高年齢者等146人が「介護サポーター」お仕事説明会に参加しました。延べ109人がお仕事を体験し、55人が体験した施設に採用されています。

介護サポーターのお仕事内容

- 利用者の見守りや話し相手
- 趣味活動のお手伝い
- ベッドメイキング
- 入浴の準備
- 食事の配膳・下膳
- 備品の補充
- 清掃 など



12~2月の勤務となりますが、平均8割は3月以降も引き続き施設で雇用されています。令和5年度も実施予定ですので、法人・施設の皆さま、短時間勤務希望の皆さま、ぜひ本事業の利用をご検討ください。

【問合せ先】 青森県福祉人材センター
電話：017-777-0012

TUK 東洋羽毛

睡眠セミナー

Sleeping Seminar

のご案内

講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務めるセミナーをご用意しています。

東洋羽毛北部販売株式会社 青森営業所

〒030-0121 青森市妙見1-5-10 **0120-389553**

※お役にたてる主な研修※

- ★医療安全対策研修
- ★メンタルヘルス研修
- ★学校保健委員会
- ★高齢者の睡眠ケア

屋外大型LEDビジョン広告

Tec-Vision®

テック・ビジョン

Technol

デジタルサイネージ・動画制作はテクノルにご相談ください!

広告主募集中!

Technol

クリエイティブデザイン事業部

青森県庁横須藤ビル
(消防本部前交差点)

〒八戸市城下1丁目10-15 Tec-LABO 1F
☐ cd-info@technol.co.jp
☎ 0178-47-8162

みなさまの善意に感謝！

令和4年10月～12月分 寄附・預託のご紹介



● 青森県社協への寄附

青森県社協が実施する事業や福祉団体への支援等に役立てるための寄附をいただきました

寄附者名 (敬称略)	寄附金額 (円)
公認会計士・税理士 小野寺高事務所	53,876
富士電機株式会社J-MOXゴルフコンペ	103,000
千葉県社協職員連絡協議会	60,000
青森県ターゲットバードゴルフ協会	26,000
日本原燃株式会社	110,512
匿名希望 (2名)	110,000
合 計	463,388

寄附や預託、贈呈式の様子を青森県社協HPで紹介しています
贈呈式は写真付きで掲載中です！
ぜひご覧ください

寄附ページは
こちら



青森県ボランティア・
市民活動センターの
facebook
はこちら



寄附者名 (敬称略)	寄附内容
一般社団法人生命保険協会青森県協会	車輛 (マツダフレア) 1台

● 青森県善意銀行への預託

善意銀行を通して福祉施設や団体に金銭や物品等の寄附をいただきました

預託者名 (敬称略)	預託内容	払出先名 (敬称略)
日本原燃株式会社	ふれあいコンサート (R4.10.23) 20席	障がい者施設利用者
青森県原子力関係労組懇話会	図書カード 42枚	児童養護施設あけぼの学園
青森県信用組合	使用済切手 1.8kg、未使用切手 174枚、 未使用はがき 136枚	緑の地球防衛基金
一般社団法人生命保険協会青森県協会	車椅子 15台	県内社協4ヶ所、県内福祉施設3ヶ所
青森県火災共済協同組合	車椅子 7台	県内社協2ヶ所、県内福祉施設5ヶ所
株式会社ツルハホールディングス	車椅子 10台	県内福祉施設5ヶ所
株式会社トヨタレンタリース青森	車椅子 24台	県内福祉施設6ヶ所

● 青森県善意銀行【フードバンク】への預託

善意銀行を通して子育て世帯等に食品の寄附をいただきました

預託者名 (敬称略)	預託内容	払出先名 (敬称略)
株式会社秋田銀行八戸支店	あきたこまち10kg41袋、素麺60袋、そば60袋、 うどん60袋、スパゲティ125袋、マカロニ48袋	八戸こども宅食おすそわけ便
匿名希望	白米15kg×5袋	生活困窮者等
AIRオートクラブ 青森支部 JSA中核会 青森支部 損害保険ジャパン株式会社 青森支店	フードドライブ収集品 122kg	青森こども宅食おすそわけ便、 困窮者支援等
八戸北ロータリークラブ	県産米「まっしぐら」2kg 300袋	八戸こども宅食おすそわけ便
廣田神社	りんご、米、じゃがいも、さつまいも、ニンニク他	こども食堂
株式会社 青洋建設	アルファ化米 (白飯) 50食	生活困窮者等
NTT東日本青森支店	フードドライブ収集品 60kg	こども宅食おすそわけ便、 生活困窮者、みんなの居場所

● 青森県社協への寄附を受け付けています ●

青森県社協へ寄附をいただける場合は、青森県社協HPから「寄附申込書」をダウンロードの上、必要事項を記入いただき、下記までFAXまたは郵送でお送りください。記入いただいた連絡先へ、寄附担当者からご連絡いたします。寄附についてご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

◆ 「寄附申込書」の送付先 ◆

住 所：〒030-0822 青森県青森市中央三丁目20番30号 社会福祉法人青森県社会福祉協議会
FAX：017-723-1394

◆ 寄附に関する問合せ先 ◆

青森県社協 総務課 総務係 寄附担当者 電話：017-723-1391

青森県社協
HP寄附ページ
はこちら





スポットライト

今回は、東奥学園高等学校卒業後、特別養護老人ホームおきだて苑（以下、おきだて苑）の介護福祉士として活躍している入社して1年目の大谷 実優（みゆ）さんにスポットライト！



高校卒業後、 念願のおきだて苑へ

介護福祉士を目指そうと思ったきっかけは、祖母が在宅で祖父の介護をしているのを見ていて、自分も力になればと感じたからです。

東奥学園高等学校に進学後、高校1年生の時のデイサービスセンターおきだての実習を通じて「もっと介護に関わる仕事をしたい」と感じ、高校2年生からは今の職場であるおきだて苑での実習に臨みました。

おきだて苑では、職員の皆さんが入居者様の方々に対して親身になって介助していたり、みんな笑顔で仕事をしていたりとても雰囲気がよく、ここで働きたいと思い入社しました。

心がけているのは 「いつでも笑顔！」

心がけているのは、入居者様と笑顔で接することです。慌ただしく動いている時こそ、なるべく笑顔で会話をするようにしています。どうしても忙しく動いている時に、入居者様から「慌ただしそうにしているから、気を遣ってナーズコールを鳴らせなかつた。」と言われたことがありました。そのため、入居者様がいつでも職員に話しかけやすいと感じてもらえる雰囲気づくりに取り組んでいます。

大変なことは、技術面です。ベッドから車椅子等への移乗支援の際に、足に力の入らない入居者様もいて、体を支えるのが難しいこともあります。職場で毎月開催する勉強会があり、そういう機会を大事にしてたくさん学んでいこうと思います。

私の担当しているユニットでは介護度が高い方が多く、意思疎通が難しい場合もあります。日々の表情の変化を注視しながら業務にあたっています。入居者様の中には、昔の話をしてくれる人やテレビから今流行りの話をしてくれる人もいます。皆さんと円滑なコミュニケーションを

これから目指す先



マスク越しでも笑顔が伝わるよう心がけて頑張っています！

図るために、自分から話題を作ることも大切です。これから福祉職を目指す人にもぜひ大切にしてほしいです。

職場には時間通りにスムーズに業務をこなす先輩がいて、私も慌てずスムーズに業務をできるようにになりたいです。

また、今後資格を多く取得したいと考えています。例えばサービス計画の中心となるケアマネジャー（介護支援専門員）や保育園の時からテレビ等で見て憧れていた看護師を取りたいです。資格を取得しても、今と変わらず入居者様と関わりを多く持ちながら働きたいです。

いつも仲良く笑っている職場に助けられながら、これからも笑顔で心がけて入居者様と接していきたいです。

お部屋 病院 オフィス ホテル ホール 等の

臭い が気になる!!

感染 が心配!!

カビ が気になる!!

そんなときには

デルフィーノは接触感染により発症するリスクが高い感染症のウイルスや菌を分解・除去します！

クリアな快適空間へ

スマート介護なら何でも揃う！

スマート介護

介護・福祉施設向けデリバリーサービス

コスト＆
手間の軽減で

業務効率UP!

充実の商品
ラインナップでサポート

約20,000アイテム

介護施設で働くすべての皆さまをお手伝い！

お届けしたいのは
期待を超える価値と笑顔です

株式会社ヒグチ

青森市問屋町一丁目 15-22 ☎017-738-3661
八戸市下長 四丁目 5-4 ☎0178-38-8411

アンケートに寄せられた感想や意見をご紹介します 広報紙アンケートへの回答ありがとうございます

県社協では、この広報紙への感想や意見をアンケートで募集しており、掲載内容に関する感想や今後取り上げてほしいテーマなどを回答いただいています。いつもアンケートに協力いただいている皆さま、ありがとうございます！今回は、これまで回答いただいたアンケートの中から一部を抜粋してご紹介します。

ボランティア体験談の記事が良かった。
今後、ボランティアに参加したいと思った際の問い合わせ先や参加の仕方のレクチャー記事があるとうれしく思います。

県社協の幅広い活動の紹介を今後も続けてほしいです。

仕事をしながらでも参加できる福祉活動をもっと知りたいと思いました。

コロナ禍でも行える行事やレクリエーション。

スポットライトがいつも楽しみです。
青森にこういう人がいるんだと興味深く拝見しております。

自分達の活動が載ったのでとても嬉しい。
県内たくさんの情報をいっぱい載せて、うれしいと思う気持ちをたくさんの人が味わえる様、あちこち取材して下さい。協力します。ありがとう。

今まで、職場に来ていたとしてもあまり読んだことはなかったのですが、ちゃんと読んでみると、とても面白くためになる情報誌だと思いました。取材や情報収集がたくさんあるのが良いですね。写真があったり、カラフルなのも読みやすいです。

●アンケートへの回答募集中●

皆さまからいただいた感想や意見を参考にして、広報紙の内容や取材先を検討しています。

いただいた要望にすぐにお応えできないこともありますが、皆さまの役に立つような広報紙を目指して、日々情報を集めています。また、掲載記事への感想をいただけると広報紙作成の励みになります！

これまでアンケートに回答したことの無い方も、ぜひアンケートに回答ください！皆さまの声をお待ちしています！

県社協HP
【広報紙】の
入力フォームから回答
できます



新しい挑戦には、 新しい保険が必要だ

保険を通じてあなたの「挑戦」を支え、多様なニーズに対応します。

MS&AD MS&ADインシュアランスグループ
MS東北株式会社



MS東北は、MS&ADインシュアランスグループの一員として、SDGsに取り組んでいます。

【青森支店】青森市橋本2-19-3 三井住友海上青森ビル4階 TEL: 017-718-5559
【八戸支店】八戸市柏崎1-11-18 シエナビル4階 TEL: 0178-43-3351
【むつ支店】むつ市金谷1-9-25 GOLDEN VALLEY OFFICE TEL: 0175-33-0291

DXで仕事を、人を、夢をつなぐ kbsのDXソリューション



株式会社 ビジネスサービス



本社：青森市新町2丁目6-29 TEL: 017-777-3250
支店・営業所：青森 / 弘前 / 八戸 / 十和田 / 三沢

2022年4月経済産業省よりDX認定事業者として認定

Next innovation

会社が培った情報という財産を次の時代に活かす。

ACS 株式会社 青森電子計算センター

■本社 / 青森市大字三内丸山393-270 (西部工業団地内) TEL 017-761-5300
■八戸支店 ■東京支店 ■弘前営業所

福祉に関わる皆様へ



ドライバーに  もしもの時の安心を

自動車総合共済

福祉施設割引 (10%) 福祉車両割引 (3%)
福祉施設職員割引 (5%) 障害者割引 (10%)



県火災あおもり



青森市新町2丁目8-26 TEL 017-777-8111 (代表)